

赤坂地区総合支所のお知らせ

語り朗読会「遠野と賢治の世界」が開催されました。

2007年12月1日(土)、まちを夕闇が包み込むころ、青山、実相寺で、Aoyama Classics 実行委員会の主催により、語り朗読会「遠野と賢治の世界」が開催されました。

小学生からお年寄りまで約100名のお客様が、「むかすあつたずま」で始まり「どんとばなれ」と結ぶ「遠野のむかしばなし」「遠野と賢治の世界」を堪能しました。会場は、笑いど涙に包まれていました。

柳田國男の「遠野物語」は有名ですが、その柳田に話を聞かせたのが、遠野生まれの研究者・佐々木善善でした。物語に登場する伝説や昔話は、語り部によって今も語り継がれています。

語り部は、劇団文学座を経て、現在青二プロ所属、遠野の語り部鈴木サツさんに昔話を伝えられ、長岡輝子氏に賢治の朗読指導を受けた東京では貴重な語り手の平野正人さん。

赤坂地区総合支所は、こうした取り組みを行う地域の皆様と協働し、子ども達が地域の文化、歴史や日本の伝統芸能に触れ、豊かな心を育てるための活動を行ってまいります。



赤坂地区タウンミーティング、地区版基本計画等検討会合同シンポジウムを開催します。

平成19年度の活動報告と、赤坂・青山地区の平成20年度の展望について、基調講演とシンポジウム等を開催し、地域の皆様と意見交換を行います。

日時/平成20年3月14日(金)
午後6時30分～8時30分
場所/赤坂区民センター 区民ホール

お問い合わせ/地区政策課 電話/03-5413-7013

地域情報ニュース

平成19年度 第1回赤坂メディアアート展が開催されました。

赤坂通り商店街の周辺地域は、メディア関係の事業所やアーティスト、学生が集まり、メディア系ビジネスやメディアアートの拠点となっていっています。こうしたチャンスをいかしたまちづくりに対する区の支援を求める強い要望が地元からあり、地元商店街・町会等の協賛のため、地域が一体となって「赤坂地区文化・芸術の街づくり(メディアアート展)」を実施することにになりました。

●ディアログ・イン・ザ・ダーク2007 東京(DID) 平成19年9月13日(木)～12月19日(水)

自己の感覚を呼び覚まし、新しいコミュニケーションの力を生み出すディアログ・イン・ザ・ダーク(DID)。旧赤坂小学校にて真っ暗な中で、赤坂のまち、放課後の安らぎを新しいアートとして表現した空間に立つ、赤坂のまちの魅力と香りを感じ取りました。※8/10には赤坂らしさを取り入れた会場作りのためのワークショップを行いました。

●“赤坂文化芸術の街づくり”区長との懇談会 平成19年11月4日(日)

ディアログ・イン・ザ・ダーク(DID)を体験した方々から、今後の赤坂文化芸術の街づくりについて、区長と意見を交換した。【ご意見の中には、...】
・DIDの体験を通して、「私は人が好きだった。」ことを改めて認識しました。
・DIDの体験で想像を膨らませること、また、五感を大切にすることを学びました。

●赤坂デジタル掛軸 平成19年11月15日(木)・16日(金)

デジタル掛軸は100枚に及ぶデジタル映像をコンピューターにアトラクタムに組み合わせ、歴史的な建造物や雄大な自然などに映写して、幻想的な空間を創り上げる世界初のアートスタイルです。夕日が沈む時のようにゆったり変化する情景を創出し、偶然の連続で創り出される映像は二度と同じものを見ることはできない一期一会のアートともいえるものです。



●まっくら音楽会 12月21日(金) & 展覧会 12月20日(木)～22日(土) [於] 赤坂区民センター
まっくらな中での音楽会。楽譜も指揮者も真っ暗で確認できません。DIDアテンションからもミュージシャンが特別出演し、様々なが披露されました。何も見えない中で聞く音色は、聴者の脳裏にどんなイメージを描いたのでしょうか。展覧会にはDID体験により生み出された作品が展示されました。

お問い合わせ/地区政策課 電話/03-5413-7013

赤坂青山にある大使館・観光局 [ブラジル編]



ブラジル大使館
〒107-8633 港区北青山2-11-12
TEL 03-3404-5211
FAX 03-3405-5846
http://www.brasemb.or.jp



2008年は日本ブラジル交流年!

1908年4月28日、第一回日本移住者781名(この他に自由航行者10名)を乗せた笠戸丸が神戸港を出航しました。笠戸丸は約2ヶ月の航海、6月18日にブラジル・サントス港に入港。ここに日本人のブラジル移住が始まりました。今年2008年は、日本人がブラジルへの移住を開始してからちょうど100年目にあたります。この記念すべき年を「日本ブラジル交流年」として祝い、日伯両国関係をさらに発展させることを目指し、さまざまな交流事業が開かれます。

ブラジルといえば、サッカー、リオデジャネイロのカニバルが世界的に有名ですが、建築、デザイン、音楽も欠かすことのできないものです。

建築 町全体が世界遺産に指定されている首都ブラジリア。この近代都市建設を成し遂げた建築家が、ニューマイヤーです。彼の建築は、リオの海岸沿いに建つ円盤型の「ニテイロ美術館」、リオサンパウロの「サンバスタジアム」、「NY国連ビル」にも及びます。

デザイン ブラジルの自然から影響を受けたヴィヴィットな色調と大胆な形が特徴的。中でも、カンパノ兄弟はビニールチューブやスチールワイヤー、布地といった素材を使ったユニークで斬新なデザイナーとして注目を浴びています。

音楽 ブラジリアンソムとして知られているボサノヴァは、50年代に全盛期を迎えたサンバ・ジヤアスの要素を組み込んだものです。ジョアン・ジルベルトと作曲家のアントニオ・カルロス・ジョビンが演奏形態に改革をもたらした、バラッド様式に構造的な修正を加え、サンバのリズムにゆったりとした穏やかな雰囲気を加味したのです。

2008年イベント情報

- 3月 ●記念貨幣の発行
3/27 ●ブラジル移民100周年記念 AESAコンサート (日比谷公園小音楽堂)
- 4/26-27 ●ブラジルフェスタ2008 (横浜赤レンガイベント広場)
- 8月 ●ボサノヴァ50周年 TM 記念イベント(お台場海浜公園他)
- 8/6～20 ●早稲田大学・慶応義塾大学野球部ブラジル遠征 (早慶戦ブラジル各地で開催)
- 8/20～9/10 ●日本=ブラジル ミュージック・フェスティバル2008 (日比谷公園野外大音楽堂、横浜赤レンガ倉庫)
- 10～12月 ●ブラジル現代美術展(東京現代美術館)

赤坂5丁目 “赤坂サカス” 3月20日オープン!

“新しい文化を咲かす” ...これが“赤坂サカス”のステータスです。歴史ある街、坂の多い街から名づけられた新しい空間。赤坂サカスはTBS放送センターを核とし、赤坂ACシアター(劇場)、赤坂BLITZ(ライブハウス)、赤坂ギャラリー、サカス広場、46店の飲食店などが入る赤坂Bizタワー(オフィスビル)から成るエリアです。

グランドオープン期間の2008年3月20日から4月6日を“Sacas Opening Fes(サカスオープニングフェス)”とし、20日にはTBSのレギュラー情報番組が広場特設ステージから生放送、ギャラリーでは4月15日に展示会を開催するほか、屋外ファッションショーやテレビラジオ番組と連動するイベントを多数開催予定です。 “伝統”と“最先端の流行”がシンクロする、新しい文化発信エリアをのぞいて見ませんか。



●エリア全体に咲き誇る約100本のサクラ

河津桜や八重桜などさまざまな桜が3月上旬から5月上旬あたりまで楽しめます。東京の中心エリアに新しい花見スポットの誕生です。

[桜の種類]
○河津桜(3月上旬) ○寒桜(3月中旬) ○ソメイヨシノ(3月下旬)
○枝垂桜(4月) ○山桜(4月上旬) ○思桜(4月上旬)
○アコーレド(年2回咲き4月上旬・秋咲き) ○関山(4月下旬)
○普賢象(4月下旬) ○兼六園桜(5月上旬)

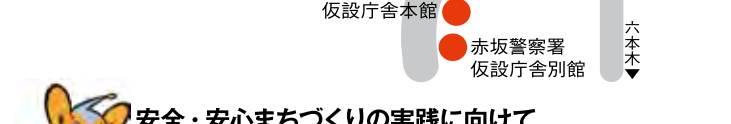
お問い合わせ/TBS 電話/03-3746-1111



赤坂警察署からのお知らせ

赤坂警察署所在地 平成19年10月29日から 仮庁舎に移転しました。ご注意ください。

〒107-0052 東京都港区南青山1丁目5番15号
電話 03(3475)0110(代表)
■最寄り駅 東京メトロ有明線・半蔵門線 青山一丁目駅 徒歩約5分 東京メトロ千代田線 乃木坂駅 徒歩約7分



安全・安心まちづくりの実践に向けて 守ろうよ わたしの好きな 街だから

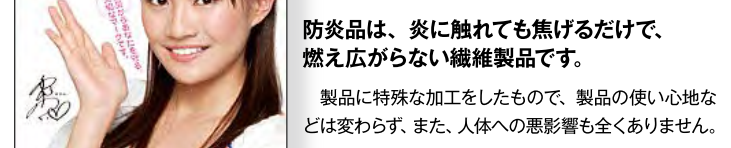
犯罪のない安全で安心して暮らせるまちを実現するためには、一人ひとりが防犯意識を持って、犯罪被害にあわないための行動を心がけることが大切です。これまでも地域の皆様には防犯パトロールなどの積極的な防犯活動や各種防犯対策を推進していただきました。今後とも区民の皆様をはじめ、防犯ボランティアの皆様、事業者、区市町村などと連携・協力して安全で安心まちづくりに向けた取組みを更に推進していきたいと考えています。

お問い合わせ/赤坂警察署 電話/03-3475-0110

赤坂消防署からのお知らせ

防災物品や防災製品を使いましょう!

たばこや暖房器具、調理器具などの火が布団類、衣類、紙類等に着火した事例は毎年多く見られます。特に着衣に着火した火災では、火傷を負う方が多くいらっしゃいます。もしも、これらの着火物が燃えにくいものがあったら、火災に至らなかつたり、火災の拡大を遅らせたりすることができたと考えられます。



主な防災品
●カーテン、じゅうたん
●布団、座布団などの布団類、毛布類
●布団カバー、毛布カバー、枕カバー、シーツ
●仏壇マット
●衣服類 (寝間着、パジャマ、ゆかた)
●羽織着、エプロン、アームカバー
●自転車、オートバイ等のホディカバー

お問い合わせ/赤坂消防署 電話/03-3478-0119

あの人 この人 地域のこと

赤坂・青山町会のことを 地域で活躍している人に聞きました。

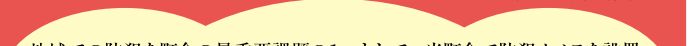
赤坂

赤坂東一・二丁目町会……地域の防犯に目を向ける

赤坂東一・二丁目町会は、赤坂青山地域の町会・自治会で初めて防犯カメラを設置しました。

近年、地域における犯罪、落書きなどのいたずら、放火などが増えている状況をふまえて、平成17年に防犯カメラを12台設置しました。防犯カメラは地域の安全確保と犯罪の未然防止を目的としており、それらが持つ犯罪の抑止力は、安全で安心できるまちづくりに進めるうえで大きな効果を期待できます。

また、防犯カメラを設置するにあたり、港区長はじめ警察署、消防署、地域の事業者などの関係機関が出席した防犯カメラ完成記念式典も行われました。



地域での防犯を町会の最重要課題の一つとして、当町会で防犯カメラを設置しました。設置後も、月初めには防犯カメラの取り付け位置や方向などを確認・修正しており、いつも最高の状態を維持しています。これからは港区警察署・消防署や地域の事業者を協力しながら、地域での防犯に努めていき、安全で安心できるまちにしていきたいと思ひます。

赤坂東一・二丁目町会 伊藤 進 会長 談

お問い合わせ/地区活動推進課 活動推進係 電話/03-5413-7272

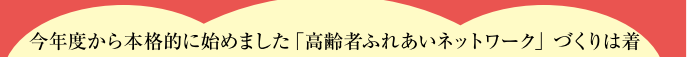
青山

青山二丁目町会……高齢者ふれあいネットワーク

青山二丁目町会では、「高齢者ふれあいネットワーク」づくりに取り組んでいます。

「高齢者ふれあいネットワーク」とは、災害時に地域でスムーズに助け合えることができるように、日ごろからご近所同士のお付き合いを大切にすることを目的としています。青山二丁目町会でも高齢者が増えてきているので、「高齢者ふれあいネットワーク」と命名し、一人暮らしなどの条件に関わらず、すべての高齢者を対象にしていることが特徴です。

町会内にある13の班の班長による声掛けや日帰りバス旅行や高齢者健康管理講座などの町会主催の様々な行事を通じて、地域の高齢者の交流を深めています。また、最初は防災のために取り組んできたことですが、ご近所同士のお付き合いを重んじることで、町会全体もとても活気を帯びてきました。



今年度から本格的に始めました「高齢者ふれあいネットワーク」づくりは着実に進んでおり、町会行事への参加者も増えてきています。やはり、災害時に地域で助け合うためには、日ごろからのご近所同士のお付き合いが非常に重要です。そのために、これからもこの活動を継続・発展させて、「向こう3軒隣り」のお付き合いを重んじ、地域防災力の向上・町会の活性化に努めていきたいと思ひます。

青山二丁目町会 山本 忠雄 会長 談
お問い合わせ/地区活動推進課 活動推進係 電話/03-5413-7272

青山福祉会館に証明書自動交付機を設置!

自動交付機カードはお持ちですか。

証明書自動交付機は、銀行等のATM(現金自動預払機)と同じように、カードを入れて暗証番号を入力することで日中はもちろん、夜間・休日でも証明書を簡単に受け取ることができる機械です。

■証明書自動交付機で発行できる証明書

- ・印鑑登録証明書
- ・住民票
- ・外国人登録原票記載事項証明書
- ・戸籍(全部・個人)事項証明書(港区に住民登録と本籍がある方)
- 証明書手数料
・印鑑証明書、住民票、外国人登録原票記載事項証明書・・・250円
- ・戸籍(全部・個人)事項証明書・・・400円
- ※1万円・5千円・2千円札、及び5円・1円硬貨は使用できません。
- 利用時間

※他施設の証明書自動交付機と利用時間が一部異なりますのでご注意ください。
月～金曜日 午前8時30分から午後9時まで
土・日曜日 午前9時から午後5時まで
年末年始(12月29日から1月3日まで)

祝日(土・日曜日に当たる日は、利用できません)
お問い合わせ/くらし応援課 窓口サービス係 電話/03-5413-7012

まちづくりコンサルタント派遣制度

まちづくりコンサルタントの派遣とは

- 区民のみなさんが、グループで街の生活環境の改善や建物の共同化について話し合いをされる場合に、各地区総合支所ではまちづくりコンサルタントを派遣します。
 - コンサルタントには、
①まちづくりについての勉強会や学習会に参加し、指導・助言をします。
②地域の整備についての概略的な方針の提示や建物の共同化などの計画を提案します。
- ※まちづくりコンサルタントとは、都市計画や建築設計等のまちづくりに関する知識や経験の豊富な専門家のことをいいます。

コンサルタントの派遣を受けるには

- コンサルタントの派遣を希望される時は、区民2名以上で代表者を決めて、各地区の総合支所に申込みをしてください。
 - 区では、グループの希望にそって、活動内容にふさわしいコンサルタントを選んで派遣します。
- ※なお、コンサルタント派遣に要する費用は、原則として区が負担します。詳しくはお問い合わせください。
※コンサルタントはあらかじめ区に登録してあります。
お問い合わせ/地区政策課 地区政策担当 電話/03-5413-7013



MYタウン

赤坂 AKASAKA

青山 AOYAMA

地域情報誌

発行：港区赤坂青山地区 地域情報誌編集委員会 赤坂青山地域情報誌 第5号
事務局：港区赤坂地区総合支所地区政策課 発行部数 20,000部

[天然記念物/赤坂氷川神社・大イチョウ]
目通り(地上1.5mの高さ)の幹径約2.4m、幹周約7.5mを測る樹齢400年の巨樹です。神社が現在地に建立された享保15年(1730年)には、すでに100年を超える樹齢を有していたことになり、それ以前からこの地で成育していたと考えられます。イチョウは生きた化石とも言われ、一億五千万年前には地球上の至る所で生い茂っていた。氷河期には壊滅しかけたが、中国大陸南東部に残っていたものが日本に渡ってきたとされます。落葉性の木で成長も早く、高さ30mにも成長します。雄雄異株であり、この木は雄株です。
港区内に現存するイチョウでは、最大である福音寺「逆さイチョウ(国指定天然記念物)」に次ぐ大きさの樹齢を保っている貴重な巨木です。



高橋是清翁記念公園・石像

歴史の目撃者を訪ねて。

特集 名木・古木

史跡・モニュメント

乃木神社

赤坂 8 丁目

01 | クス・カイ・シイ

大正 12 年、明治天皇に殉じて自刃した乃木夫妻の精神を永世に伝えようと乃木邸、本戸邸の一部などに神社が創設されました。江戸時代ここは久留米藩下屋敷があったところ。第二次大戦の空襲で神社は焼失しましたが、饗善とした大木は焼失をまぬがれ、当時の面影を伝えています。

クスの木



カイの木

乃木邸

赤坂 8 丁目

02 | ナツメ

邸内のナツメの木は、日露戦争はロシアに勝利し終りましたが、その際、乃木将軍とロシアのステッセル将軍が会見 (1715) をした旅順の「水師宮」の庭先にあったナツメの木の孫木です。今もなお、たくさんの実を実らせるそうです。



玉窓寺

南青山 2 丁目

03 | サクラ (八重桜)

青山二丁目にある創建四百年という玉窓寺。門前の桜の古木と境内にあるこの八重桜は町内会の皆さんで推薦して区の保護樹木に。地元住民の思いが込められています。

濱登邸

南青山 5 丁目

04 | サクラ

平成 5 年に保護指定。この桜の樹と一体感というコンセプトで現在のビルは建替えられました。樹齢は 50 年越えて区の保護樹木に。地元住民の思いが込められています。地下にギャラリー・始弘があります。

銀杏の丘

赤坂 5 丁目 (近衛第三連隊の旧跡)

07 | イチョウ

現在の TBS、赤坂パークビルジグは近衛第三連隊の跡に建設されたものです。その敷地の一部に近衛第三連隊の記憶を残す銀杏の丘があり、ここに残る銀杏は近衛第三連隊のシンボルでした。昭和 20 年の空襲で中心までも大きなダメージを受けましたが、今は、ひこばえのように脇から幹を繁らせ、大きく育っています。



赤坂インターシティビル

赤坂 1 丁目

05 | ヒマラヤ杉

関東大震災の後、洋館を建てた際に植樹したもので。インターシティビルの再開発のとき現在の新複合体に移植されました。



青山霊園

南青山 2 丁目

06 | サクラ並木

青山霊園は、明治 5 年、美濃郡上藩青山四万八千石の下屋敷跡地に神式の墓地としてつくられました。近代日本の歴史に登場した政治家、文人、科学者、実業家、芸能人、軍人たちが深い眠りに付いています。

昭和 32 年 12 月に都市公園として計画決定されてから、空襲地の再貸付けは行われず、墓地公園としての役割をはたすようになってきています。園内の道路にはサクラ並木がつづき、春に花見客を集め、夏は木陰をつくり、秋には色づき、冬になると静けさにとたずみます。



国際新赤坂ビル東館

赤坂 2 丁目

09 | モチの木

昭和 55 年 (1980) の竣工に際し、モチの木や樹齢 200 年を超えるクスノキ、ヤマモモ、マキ、など 200 本あまりを公開空地に移植しました。いずれも、今は堂々と存在感のある樹木となっています。

聖パウロ女子修道会の森

赤坂 8 丁目

10 | ヒマラヤ杉

赤坂 8 丁目の聖パウロ女子修道会は赤坂の脇道を入った奥にあり、赤坂の喧噪からは想像もできないような、大きな木々に囲まれた静かな森の中にあります。周囲は広葉樹や常緑樹で囲まれ、新緑も紅葉も美しい。中心にあるシンボリックのヒマラヤ杉や樹齢百年を超えるサルスベリやヒノキ、イチョウもあります。



表参道

北青山 3 丁目

11 | ケヤキ並木

表参道のケヤキ並木は、大正 9 年 (1920)、当時の東京市により明治神宮の表参道として建設されました。道路幅は 36 m。沿道には高い建物も少なく、ただ広い一本道が明治神宮までつながっていました。沿道に植えられたケヤキは 201 本でしたが、このうち昭和 20 年 5 月 25 日の山の空襲で大半が焼失。戦災を生き延びた数少ないケヤキと新たに植えられたものを含め、現在 163 本のケヤキが緑生い茂る美しい通りを形成しています。沿道の街並みは、東京オリンピック頃までは住宅が中心でしたが、徐々に店が増え始め、現在は沢山のブティックやカフェ等が立ち並ぶようになりました。平成 18 年 2 月、同潤会青山アパート跡地に表参道ヒルズが完成。設計にあたっては、建物の高さがケヤキの高さを超えないように配慮がなされたそうです。表参道が訪れる人を魅了して止まないのは、立派に育ったケヤキ並木と地元の方々による絶え間ない清掃・美化活動などによるところが大きいのです。

赤坂氷川神社

赤坂 6 丁目

12 | 大イチョウ (天然記念物)

戦争の際に被弾したのは参道側のものではなく、まさしくこの大イチョウ。この大イチョウの裏側 (スベリ台のある方から) を、ぜひ一度ご覧ください。いまでも内側が空洞化し、黒い焦げた形跡 (焼夷弾の跡) が残っています。

現在、ブランコがある辺りに「神楽殿」もあったそうで、この公園一帯は焼夷弾の空襲を受けました。正面参道を挟んで、現在、町会の神輿倉があるあたりも被弾し、そのときに残念ながら官神輿も焼失してしまいました。不幸中の幸い、参道十字路を境に神輿は被弾せずすみまして、八代将軍吉宗公による造営の社殿がそのまま残っています。

この大イチョウはこのような状態になりながらも毎年黄金色の葉をつけます。まさに自然の力を思い知らされます。

赤坂・青山の名木・古木を歩く。

赤坂・青山界隈に、こんなにも多くの名木・古木たちが点在しているのをご存知でしょうか。歴史の重みを感じる木々を見ると、ホント人間なんてとてつもなく小さく感じます。そして何よりもこの地の歴史を目撃してきた証人でもあります。そんな思いを胸に、私たちの街の名木・古木を訪ね歩いてみるのも楽しいものです。



大イチョウの裏側



ホンダビル

南青山 2 丁目

13 | クスの木

クスの木は関東以南の温暖地に自生し、高さ 20m 以上の大木となるため、神社の御神木とされている木もあります。普通は、単幹・双幹・3 幹が多く、この木のように 15 本株立ちのものとはとても珍しく、日本全国でもほとんど見かけることがないと思われま。樟腦の原料となり、虫が付きにくい、建築材や舟材としても使われます。



【並木のおもしろいポイント】
絵画館を眺む近道法 (絵画の手法) の活用
樹高順に青山山より降り勾配にしたがって植えられ、地盤も青山山から絵画館寄りでは約 1m 下がっています。
いちよう並木は大正 12 年 (1923) にできました。代々木の宮内省南島御料地内の苗圃で、樹高 6m 内外に成長していた 1,600 本より選ばれ、更に年々樹形を整えてきたものを植栽したものです。

樹齢は 100 年です (2008) 現在明治 41 年 (1908) に新宿御苑在来木から採集した銀杏を豊島御料地の苗圃に蒔きました。この時の兄弟木は、スケート場前明治神宮北参道に通じる JR 千駄ヶ谷駅前道路の並木など、内・外苑の各所に植栽されました。



明治神宮外苑

北青山 1 丁目・2 丁目 (港区) / 霞岳町 (新宿区)

14 | イチヨウ並木

青山通り口から外苑中央広場円周道路に至る街路樹として植栽された銀杏並木は春の芽生え、夏の青葉、秋の黄葉、冬の裸木と、その人工自然美の素晴らしさから、四季を通じて都民に親しまれ、白亜の絵画館を望む四並列の銀杏の大木が作り出す景観の美しさは、世界的に知られているところ。

15 | 御親兵衛

外苑の敷地は造営前は青山練兵場でしたが、ここでは、明治天皇御台臨のもとに、明治 22 年 2 月 11 日の憲法発表祝典、明治 39 年 4 月 30 日の日露戦役凱旋祝典などが行われました。その際、明治天皇の御座所は常にこの榎の大木の西側に設けられていたもので、この木を「御親兵衛」と名付け、長く保存することとなり、現在に至っています。

16 | 御鷹の松

江戸幕府三代將軍徳川家光が鷹狩りの途中、後に国立競技場の敷地となった鏡妙寺で休息していたところ、江戸城より愛鷹「遊女」が飛来し、境内前庭の松に止まったという言い伝えがあります。家光はこれを大いに喜び、この松を「遊女の松」と名付けたとか。時代が降ってからは「御鷹の松」、また地名から「霞の松」と称されるようになりました。

17 | なんじゃもんじゃの木

この木の親木は古く幕末の頃、現在の場所から南へ約 400 m の六道の辻にあったので、「六道木」とも呼ばれた珍しい木です。和名「ひとつばたご」俗名「なんじゃもんじゃ」と呼ばれる名木で、5 月のはじめ頃には白い清楚な花を咲かせ、満開時は雪が降ったように見え、神宮外苑の名物のひとつとなっています。

18 | 樹齢 100 年のイチョウ

樹齢は 100 年です (2008) 現在明治 41 年 (1908) に新宿御苑在来木から採集した銀杏を豊島御料地の苗圃に蒔きました。この時の兄弟木は、スケート場前明治神宮北参道に通じる JR 千駄ヶ谷駅前道路の並木など、内・外苑の各所に植栽されました。

明治神宮外苑

北青山 1 丁目・2 丁目 (港区) / 霞岳町 (新宿区)

19 | 赤坂消防署発祥の地記念碑

昭和 61 年 12 月 16 日「協力和」をテーマに防災モニュメント (赤坂消防署発祥の地記念碑) が、港区南青山一丁目 2 番地内に建立されました。

20 | 建国記念文庫

祝日「建国記念の日」の制定を記念して建てられました。制定にあたっては、一部の根強い反対があり難航しましたが、数十万通におよぶ国民の熱心な制定希望の意見書が寄せられ、昭和 41 年 12 月 9 日に建立されました。当文庫は、こうした経緯を後世に伝え、制定希望の意見書を保管するために、奄美大島の穀物倉高床様式を移築したものです。

21 | 樺太日露国境天測標

日露戦争の後、明治 38 年に締結された日露講和条約で、樺太の北緯 50 度以南は日本の領土となりましたが、その境界を標すために 4 基の天測標と 17 標の小標石が建てられました。現在、絵画館前庭西側にあるこの境界天測標石はレプリカで、外苑造営時に、当時の樺太守から奉納されたものです。

22 | 葬場殿址

絵画館の裏にある葬場殿址の石碑は、大正元年 9 月 13 日明治天皇の御大喪が青山練兵場で行われたとき、この場所に御輦車が安置されたことから、外苑造営にあたり葬場殿の記念として建立されました。石壇の中央にある桶は、建立と同時に植樹された記念樹で、今では堂々とした見事な大木に成長し、石碑に優しい影をなげかけています。



明治記念館

元赤坂 2 丁目

18 | 大松

中庭に優雅な姿を見ている大松。開館当初の写真によると、すでにあのような大きさに存在していたのですから、150 年から 200 年は経っているのではないかと推測されます。庭の芝生の部分は約 2,000 ㎡ (600 坪余)、平成 4 年 (1992) から順次、常緑の西洋芝に植え替え、一年中青々としているのが特徴となっています。曾っては何阿が 2 棟あり、庭の広さも現在の 2 倍位ありましたが、増築によりだんだん狭められ、ゆったりとした風情がなくなったのが惜しい気がします。

高橋是清翁記念公園

赤坂 7 丁目

24 | 石像

高橋是清翁記念公園にはカエデ、モッコク、ウラジオネシなどの広葉樹が四季を彩り、中央の池泉のまわりには石人像 (文人像)、石灯笼、石塔が設置され、荘厳な雰囲気ささいます。

銀杏の丘

赤坂 5 丁目

25 | 近衛第三連隊の碑

この地が再開発され、新たなビル用地として生まれ変わる時に、元近衛連隊の隊員により、銀杏の丘に建てられました。

赤坂地区総合支所

赤坂 4 丁目

26 | 皇宮地下付記念碑

庁舎の所在は皇宮地跡であるために、昭和 4 年 9 月、工記 (皇宮地下付記念碑) の碑石を役所玄関前に建立しました。

